* 国際連帯税アドバイザリー・チーム第１回会合議事録
* 2019年2月25日（月）開催（日本リザルツ東京事務所）
* 参加者

国際連帯税創設を求める議員連盟、アカデミア、グローバル連帯税フォーラム、外務省国際協力局、国際公務労連（PSI）、世界連邦運動協会、国連UNHCR、国際労働機関（ILO）、国連広報センター、国境なき医師団、企業(製薬・薬品)

* 内容

国際連帯税創設を求める議員連盟（以下、議連）事務局長は「議連とグローバル連帯税フォーラムが2018年7月26日に共に大きなシンポジウムを開催し、関係者や有識者が国際連帯税実現への思いを共有した結果、連帯税導入に向けて大きな連携、連帯、協力の流れを作ってはいけないということになり、今回の国際連帯税アドバイザリー・チーム第1回の会合につながった」とこれまでの経緯を説明した。次に、アドバイザリーチームの設立が諮られた。参加者からは、この新しい組織がどのようなものであるかについての質問が寄せられた。例えば、薬品工業会社の渉外統括部長は「この会合で意見を述べる時は、所属組織の代表としてではなく、有権者としての意見を述べるという理解で良いか」と質問し、議連事務局長は「その通りで結構です」と回答した。更に、役員を置くのではなく、事務局が全て運営をし、皆がフラットな立場でご参加いただければ、と付け加えた。アドバイザリーチームが設立された。